

店 平成 14 年 4 月 25 日

各 位

駿河精機株式会社  
代表取締役社長 鈴木敏夫  
(登録銘柄 6468)  
問い合わせ先  
取締役管理部長 望月信行  
0543-44-0311

## 平成 14 年 3 月期の業績予想の修正について

平成 13 年 11 月 20 日付「業績予想の修正について」で発表しました、平成 14 年 3 月期(平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 連結業績予想

(1) 平成 14 年 3 月期(平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	10,807	228	118
今回修正(B)	<b>10,600</b>	<b>450</b>	<b>250</b>
増減額(B-A)	207	222	132
増減率	1.9%	97.4%	111.9%

(2) ご参考: 前期実績 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通期(平成 13 年 3 月期)	11,752	872	431

## 2. 単体業績予想

(1) 平成 14 年 3 月期 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日) (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	8,399	178	105
今 回 修 正 ( B )	<b>8,320</b>	<b>350</b>	<b>200</b>
増 減 額 ( B - A )	79	172	95
増 減 率	0.9%	96.6%	90.5%

(2) ご参考: 前期実績 (単位: 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
通 期 ( 平 成 13 年 3 月 期 )	9,746	898	473

## 3. 計画修正の主な理由

景気低迷の陰りのある中、上半期の売上高は対前期比で増加したものの、下半期は高速光通信、半導体等 IT 関連市場の世界的な低迷の影響を受けた上に、米国経済の悪化や構造的な国内経済の不況の影響を受け、当社の経営環境は混迷を深めることを見込み、平成 13 年 11 月 20 日付で通期業績予想を修正しました。その結果、売上高はほぼ予定通り推移いたしました。

しかし、利益面で販売費および一般管理費の不急な費用の削減を積極的に推進したことにより、営業利益の向上を図ることが出来、また、為替差益等の営業外収益の計上があり、経常利益および当期純利益の予想を上方修正するものであります。

以上